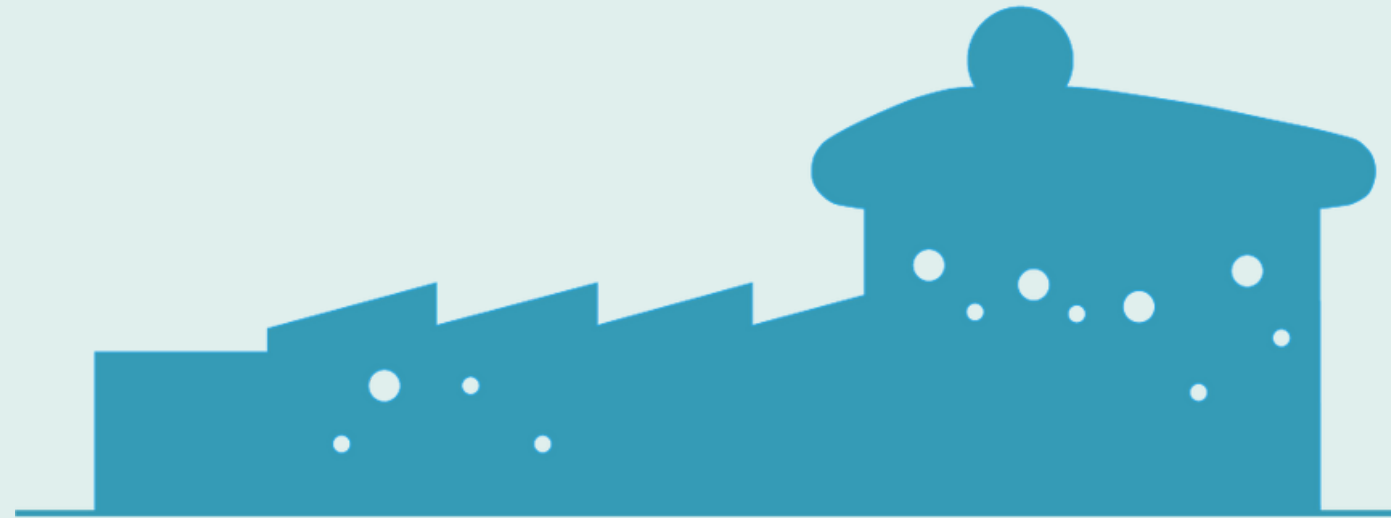


# あわび館 利活用基本計画

概要版



## 1. 背景・目的

あわび館は、地域産物の販売促進により、地域の活性化を図るとともに、展示施設による地域漁業の説明・紹介をすることで、「あわびの里」小値賀を内外にアピールする目的で、平成8年度に整備されました。その後現在に至るまで、あわび漁獲量の減少や人口減少が進むに伴い、あわび館の利用者数も減少傾向にあります。

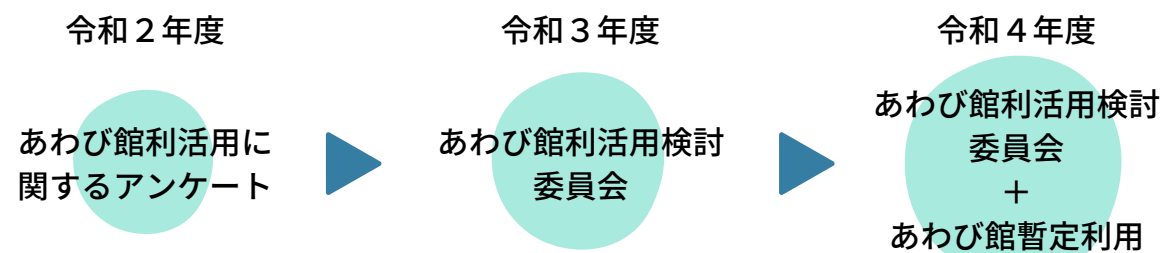
こうした背景を受け、コミュニティスペースや2階展示スペースの利活用方法について、再検討が求められることとなりました。

そこで、令和3年度に「あわび館利活用検討委員会」を立ち上げ、利活用方法についての検討や実際にあわび館を試験的に活用してみる「暫定利用」の取組を行いました。

上記の検討結果を取りまとめ、今後のあわび館利活用の基本方針を定めることを目的として、「あわび館利活用基本計画（以下、本計画という。）」として策定しました。

## 2. 利活用方針検討

あわび館の利活用を検討するにあたり、広く町民からの意見を取り入れるため、各年度において町民参加の機会を設けました。



委員会の結果、あわび館の利活用に関して、目標像を以下のとおり整理しました。

知らないに  
触れる・気づく

- 他分野、他世代交流を通じて。自分の知らない情報に触れ、可能性を広げる。
- もっと小値賀のことを知る機会をつくる。
- 学校以外でも、島の未来のことや進路のことについて、働いている大人や友人と話す機会を増やす。

島に根付く

- 学校給食や親子での料理をする機会などを増やし、もっと小値賀産のものを食べる。
- 豊富な食材を活かし、いろいろな食べ方を研究したり、新しい商品開発にチャレンジできる場をつくる。

島を誇る

- 大好きな小値賀にいつかは帰って来たいので、職業の選択肢や雇用機会を増やす。
- 両親以外のおじいちゃん、おばあちゃん達にも面倒を見てもらった。自分の子育ての時に帰って来たいと思える、信頼関係のある環境を残す。

## 3. 暫定利用

今後、少子高齢化が進み人口構造が大きく変化し、財政状況の厳しさが増す中で、更新時期を迎える多くの施設にどのように対応していくのか、また、公共施設そのものをどうしていくべきなのか、検討しなければならない時期が来ています。令和4年度には、令和3年度の委員会検討内容を踏まえ、あわび館利活用のニーズや活用することの効果を検証するため、暫定利用として以下のイベントを実施しました。

### 第1回 キッズフェスティバル



みんなでお絵描き！

### 第2回 バンブークラフト体験



他世代交流！

### 第3回 あわび館マルシェ



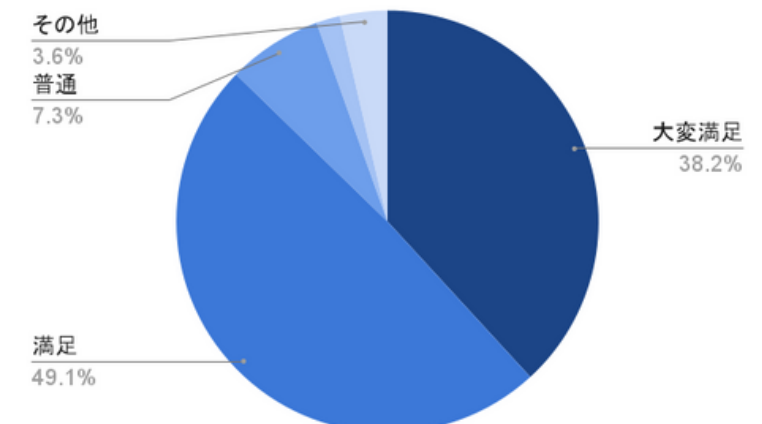
楽しくお買い物！

### アンケート結果

「本日のイベントの満足度を教えてください。」というアンケートに対し、

参加者の **87.3%** の方が  
「大変満足」、「満足」

と回答しました。



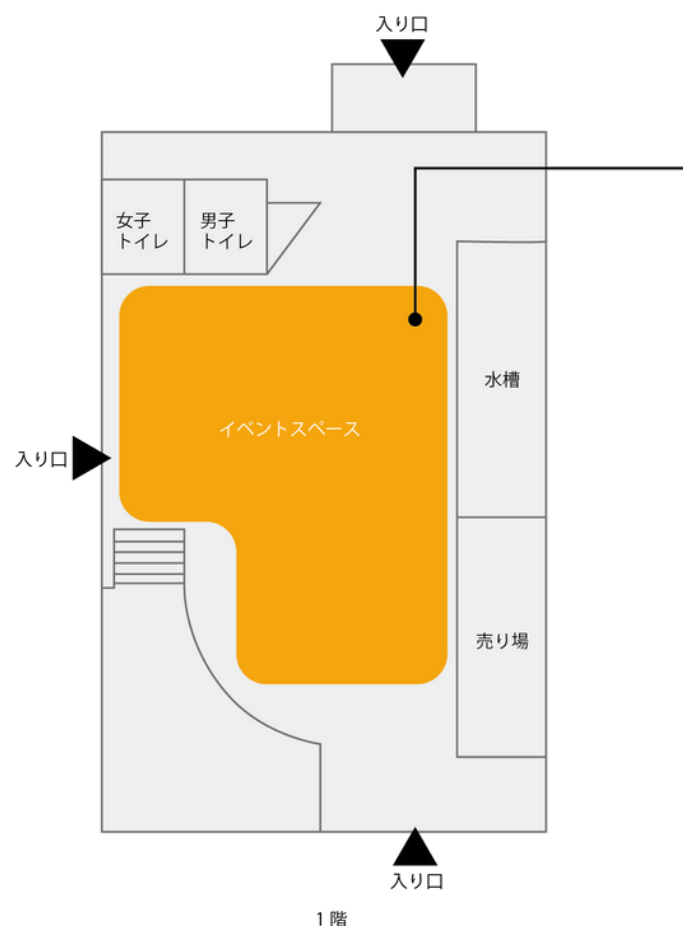
### 利用者ニーズ

その他自由意見では、以下のようなご意見がありました。

- **雨の日など子供が遊べる場所がほとんどない**し、公園も遊具がないところばかりになってきているので、室内で遊べる施設みたいなのができるとすごく良いと思います。
- 地域のお父さん方との交流によって、子どもたちも話をきいたり、集中した時間がもて、とても良かったです！ **親以外の大人との交流が良かったなと思いました！**
- (今回のようなマルシェイベントを) **回数を増やして定期的に絶やさず行って**、第一日曜日はあわび館に行けばやってるという認知を広げ、町民のコミュニティと楽しみを増やしてほしい。

## 4. 基本的な考え方

暫定利用の結果を受けて、機能配置の基本的な考え方を以下に示します。



### イベントスペース

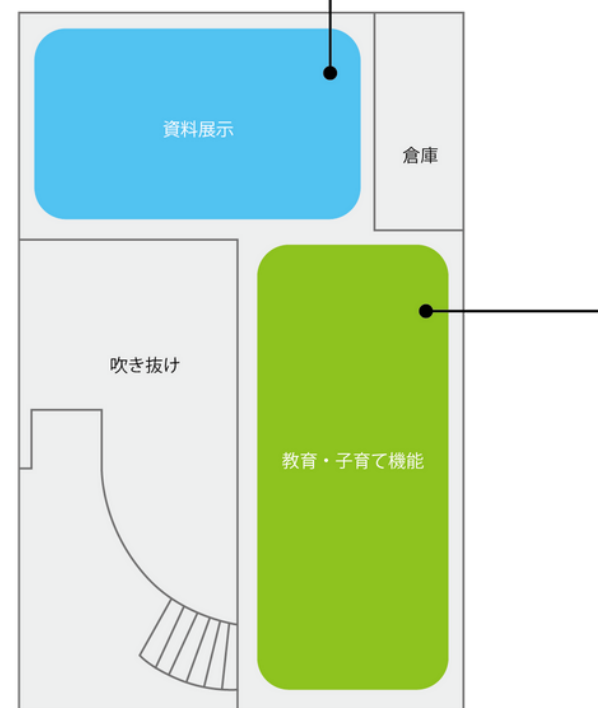
- 定期的な地産地消イベントが開催できる機能を充実させ、他分野・多世代交流を促進します。
- イベント等の定期開催が求められていることから、様々なイベント対応ができるよう、自由度の高いスペース確保に努めます（既存の生態水槽は撤去）。
- 将来的な用途変更も考慮し、可動式の設備や暫定的な設備で対応し、用途を限定しない工夫をします。

### 資料展示

- 2階の既存展示については、その内容を見直し、デジタル化等により集約を図り、その他ニーズの高い機能のためのスペース確保に努めます。

### 教育・子育て機能

- 教育・子育て支援機能の充実を図り、子どもや親子にとって居心地の良い居場所を提供します。
- 将来的な用途変更も考慮し、可動式の設備や暫定的な設備で対応し、用途を限定しない工夫をします。



## 5. 事業手法

事業手法については、以下の4つの方法が基本的に考えられます。従来方式は公共が資源を多く使いますが、右にいくにつれて、民間の資源を多く活用する手法となります。

今後の暫定利用の継続や民間事業者からの提案を踏まえ、柔軟に決定するものとし



## 6. 概算工事費

概算工事費は、現在想定している工事見積や過去の内装補修工事見積等を参考に試算しましたが、これらの費用については、設計段階で精査するとともに、近年の建設費（資材費等）の物価上昇の状況を踏まえ、適宜見直しを行うものとし

単位：千円

区分	概算工事費(税込)	備考
調査・設計費	7,000	
建設工事費①	3,000	トイレ改修工事
建設工事費②	20,000	空調等設備工事
建設工事費③	5,000	生態水槽撤去工事、床張り替え工事
備品購入費	1,000	遊具等
合計	36,000	

## 7. 事業スケジュール

事業スケジュールについては、現時点で想定されるものを示します。事業手法との兼ね合いや民間事業者からの提案も踏まえ、柔軟に変更されるものとし

	項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
公共事業	工事① (トイレ等)	トイレ等改修			
	事業手法検討	事業手法検討			
	設計		設計		
	工事②③			設備改修	
	事業者選定			事業者選定	
民間事業	暫定利用継続	暫定利用継続			
	運営企画			運営企画	
	供用開始				